

重点戦略[1]

魅力が輝き交流が盛んな地域づくり

北陸新幹線金沢開業をはじめとした陸・海・空の交流基盤の整備により、本県の観光客は大幅に増加し、金沢港のコンテナ取扱量が年々増加するなど、人やものの交流は大きく拡大しました。

今後も、東京オリンピック・パラリンピックを契機とする訪日観光客の増加が見込まれる中、北陸新幹線敦賀開業も見据え、開業効果を県内各地へ波及させ、持続・発展させる取組みがますます重要となってきます。

こうした情勢を踏まえ、人を惹きつける本県の魅力を一層磨き、その輝きを発信するとともに、さらなる交流基盤の整備・活用により、人やものの交流が盛んな地域を目指します。

施策 1

北陸新幹線の早期全線整備と開業効果の持続・発展

- 北陸新幹線金沢・敦賀間の平成34年度末までの確実な開業、さらには大阪までのフル規格による全線整備の早期実現を目指した取組みを推進します。
- 開業効果を持続・発展させ、県内全域に波及させるための取組みを推進します。

施策 2

さらなる誘客促進と石川ファンの拡大

- 本県が誇る伝統文化、恵まれた自然環境や食文化などの観光資源の磨き上げにより、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れる、石川ファンの拡大を図ります。
- 将来に渡り本県の観光を発展させるための次代を担う石川の観光人材の育成に取り組めます。また、おもてなし人材の育成・充実を図ります。
- 情報発信の充実や広域連携による周遊観光の促進を図ります。
- 観光資源として「みちの価値」を高めるとともに、能登・金沢・加賀各地域を巡る回遊性を向上します。

施策 3

東京オリンピック・パラリンピックとその後を見据えた海外誘客の促進

- 2020年の東京オリンピック・パラリンピックによる我が国への注目度の高まりを好機として、さらなる本県認知度の向上や、北陸新幹線を巡る新たなゴールデンルートづくりを目指し、オリンピック以降も海外旅行者に選ばれる魅力づくりを推進します。

施策 4

人・ものの広域な交流のための基盤整備と活用

- 陸・海・空の全ての交流基盤のさらなる充実と活用を図ります。
- 県土を隈無く網羅する幹線道路網の形成により、人とももの交流拡大を図る「ダブルラダー輝きの美知」構想を推進します。



北陸新幹線の早期全線整備と開業効果の持続・発展

(1) 金沢・敦賀間の確実な開業の実現と大阪までのフル規格による早期全線整備

- ① 北陸新幹線の早期全線整備を実現するため、関西圏を含めた沿線各県との連携を密にし、国等への働きかけを強化します。
- ② 開業効果の最大化に向け、北陸新幹線の利便性向上を国等に働きかけます。

(2) 開業効果を持続・発展させ、県内全域に波及させるための取組みの推進

- ① 県民生活との調和を図りつつ、金沢開業効果の持続・発展と県内全線開業に向けた取組みを推進します。
 - 開業効果を県内全域に波及させるため、引き続き、首都圏等からの観光誘客に努めます。
 - 移住・定住を促進し、交流・定住人口を拡大するなど、開業効果を幅広い面での県の発展につなげていきます。
 - 県内全線開業に向けて、開業効果を最大限に引き出し、県内全域に波及させるため、観光誘客拡大や、魅力ある交流基盤づくり、産業・地域づくりなど、実行プランを策定し、官民一体となって取り組みます。
- ② 北陸新幹線の開業に伴いJRから経営分離される並行在来線については、県民の日常生活や経済活動に欠かせない幹線鉄道として安定的な経営・運行を行っていきます。
 - 既にIRいしかわ鉄道が運行している金沢以東の区間については、輸送の安全性を最優先に、利用者の利便性の確保を図ります。
 - 今後、JRから経営分離される金沢以西の区間については、金沢以東の区間の課題も検証した上で、開業に向け万全を期していきます。
- ③ 敦賀開業の影響を見据え、小松空港の国内線・国際線の航空ネットワークを活用した人・ものの交流を促進します。【施策4(1)④参照】

◆ 北陸新幹線ルート図



並行在来線を走行するIRいしかわ鉄道車両



さらなる誘客促進と石川ファンの拡大

(1) 誘客の促進と満足度向上による石川ファンの拡大

① 旅行ニーズの多様化に対応した観光魅力の発掘・磨き上げ、旅行商品化を進めます。

- 産業観光、グリーンツーリズム、スローツーリズムなど、体験観光メニューをはじめ新たな観光魅力の発掘・磨き上げに取り組みます。



農家民宿「春蘭の里」

② 伝統芸能や伝統工芸、食文化、ふるさと文化など石川の優れた文化を観光資源として活用します。

- 首都圏アンテナショップや大規模イベント等において、伝統工芸や食文化、祭りをPRするなど、本県の豊かな文化を活かした観光誘客に取り組みます。
- 能や邦楽、金沢芸妓の舞など石川ならではの伝統芸能体験や食のイベントの開催などにより、交流人口の拡大に取り組みます。
- 日本遺産、いしかわ歴史遺産等の文化遺産を活用した観光振興に取り組みます。



九谷焼工芸体験

【重点戦略[2] 施策1 (2) 参照】



ライトアップされた玉泉院丸庭園

③ 観光地の活性化とまちづくりを推進します。

- 地域の観光資源を活かし、広域的な魅力を発信するイベントの実施などによって、観光地の活性化を推進します。
- 地域一体となった魅力的な観光地づくりを推進します。
- 観光客の視点に立った案内サインの充実やまち歩きを楽しめる取組みを推進するなど、観光客の歩行環境と回遊性の向上を図ります。
- 石川の魅力ある里山里海の景観や歴史的な街なみ、田園風景など、多彩な景観資源の保全・創出を推進します。
- 全国で唯一の車で走行可能な千里浜海岸の砂浜を保全し、観光資源としてのさらなる活用を図ります。



まちなかの回遊性向上のための路面標示

④ MICEや教育旅行の誘致を促進します。

- MICE^(※)の誘致助成制度の充実を図るとともに、歴史、文化、工芸、食などの本県の魅力を活かした誘致に取り組みます。
- 学校のニーズに応じた体験学習プログラムやモデルコースの提案など、教育旅行の戦略的な誘致に取り組みます。

※MICE…Meeting(会議・研修・セミナー)、Incentive tour(報奨、招待旅行)、Convention/Conference(大会、学会、国際会議)、Event/Exhibition(イベント、展示会)の総称。



珠州市日置地区の里海景観



千里浜海岸

(2) おもてなしの向上

① 石川ファンを拡大するためのおもてなしの向上を図ります。

- 観光客の声を観光業界全体で共有し、具体の改善につなげることで、観光客の満足度向上、石川ファンの拡大を図ります。

- 「観光おもてなし講座」により、県民をあげたおもてなしの向上を図ります。

(3) 観光振興を担う人材の育成

- ① 将来に渡り本県の観光を発展させるための次代を担う石川の観光人材の育成に取り組みます。
 - 本県を訪れる観光客の満足度を高めるため、新たな観光魅力の発掘・磨き上げや旅行商品化を担う人材の育成に取り組みます。
- ② おもてなし人材の育成・充実を図ります。
 - 「観光おもてなし塾」により、観光事業者の指導者層の意識向上やスキルアップに努めます。
 - 金沢駅観光案内所等の機能・サービスを充実します。

(4) 情報発信の充実

- ① 旅行ニーズの多様化に対応したきめ細かな情報発信に取り組みます。
 - ターゲットを意識し、適切な情報を効果的に発信します。
 - 石川にゆかりの深い人や石川ファンを通じた口コミによる情報発信を図ります。
- ② 本県認知度の持続・向上のための情報発信を推進します。
 - 三大都市圏等での誘客プロモーションや北陸新幹線開業を踏まえた新たな重点地域(東北地方)における誘客プロモーションを実施します。
 - 首都圏等で開催される大規模イベント等を活用し、情報発信を行います。
 - アンテナショップを活用し、情報発信を行います。
 - 石川県観光PRマスコットキャラクター「ひやくまんさん」を活用し、プロモーションを行います。



石川県観光PRマスコットキャラクター「ひやくまんさん」

(5) 広域連携による周遊観光の促進

- ① 新幹線開業による誘客効果の全県波及・持続発展を図ります。
 - ほっと石川観光プラン推進ファンド(仮称)を活用して、加賀、能登、金沢の各地域での魅力発信の取組みを強化します。
 - 県内各地域の特徴・素材を活かした県内広域周遊旅行商品の造成促進に取り組みます。
- ② 県域を越えたテーマ性のある周遊観光を促進します。
 - 広域観光を促進するため、北陸3県やJRと連携したキャンペーンに取り組みます。
 - 隣県や北陸新幹線沿線県等と連携した共同観光PRや空港を活用した広域観光の推進に取り組みます。
 - 白山白川郷ホワイトロードの利活用の促進に取り組みます。

(6) 魅力ある観光資源を活かす「おもてなし」のみちづくり

- ① 観光資源として「みちの価値」を高めるとともに、能登・金沢・加賀各地域を巡る回遊性を向上します。
 - 観光地等での無電柱化を核とした街なみ景観の形成や並木整備の他、音楽を奏でる「おとのみち」の整備を進めます。
 - 観光周遊道路において、周辺景観に調和した防護柵の設置や、外国人観光客も含め誰もがわかりやすい道路案内・交通情報の提供を行います。
 - 道の駅や寄り道パーキング等の休憩施設の機能拡充を進めます。
 - 安全で快適にサイクリングを楽しむことができるよう、魅力ある自転車通行環境の整備を進めます。
- ② 地域が取り組む沿道の景観対策や道路美化活動等のまちづくりと一体となり、地域のにぎわいを創出します。
 - 地元のまちづくり協議会等との協働により、地域固有の文化、商業、観光資源を活かしながら、沿道の街なみと一体となった道路整備を進めます。
 - 地域住民・企業と連携し、沿道の飾花・美化活動を進めます。



都市計画道路 寺町今町線(金沢市東山)



寄り道パーキング金蔵(輪島市)



東京オリンピック・パラリンピックとその後を見据えた海外誘客の促進

(1) 海外誘客の促進

- ① 東京オリンピック・パラリンピック開催を見据え、本県の認知度向上を図ります。
 - 北陸新幹線沿線を巡る新たなゴールデンルートづくりを目指し、旅行博出展、海外メディアの招へいなど、海外に向けた積極的な観光PR活動を展開します。
 - 県海外事務所、観光親善大使、海外進出企業、県内留学生のネットワークを活かしたPRの強化に取り組みます。
- ② 東京オリンピック・パラリンピック開催を活かした海外誘客に取り組みます。
 - ほっと石川観光プラン推進ファンド(仮称)を活用して、効果的・機動的な誘客に取り組みます。
 - 北陸新幹線など充実した交通インフラを活用した広域連携による周遊観光を促進します。
- ③ 各国の観光ニーズに応じた戦略的な取組みを推進します。
 - 県内発着クルーズ船の前後泊ツアーなど新たな需要の開拓を図ります。
- ④ 外国人旅行者の受入体制の充実を図ります。
 - 飲食店メニューの多言語化、免税店の登録など外国人旅行者の利便性向上を図るため、民間事業者等を対象としたセミナー等を開催し、外国人旅行者の受入環境の改善に取り組みます。
 - 兼六園・金沢城公園等の外国語ボランティアガイドを育成します。



人・ものの広域な交流のための基盤整備と活用

(1) 交流基盤のさらなる充実と活用

- ① 高速陸上交通の充実を図ります。
 - 北陸新幹線の早期全線整備の実現を目指します。【施策1(1)①参照】
 - 北陸新幹線の利便性向上に取り組みます。【施策1(1)②参照】
 - 能越自動車道等の高規格幹線道路の整備を促進します。
- ② 二次交通アクセスと機能の充実を図ります。
 - 関係機関と連携し、公共交通の利便性向上と利用促進を図ります。【重点戦略[3] 施策3(4)②参照】
 - 陸・海・空の交流拠点へのアクセス道路の整備を進めます。【(2)②参照】
 - 道の駅等の機能の拡充を進めます。【施策2(6)①参照】
 - 市街地の円滑な自動車交通を確保する道路整備を進めます。【重点戦略[3] 施策3(4)③参照】
- ③ 小松空港の国内線・国際線の航空ネットワークを活用した人・ものの交流を促進します。
 - 航空の強みを活かし、国内線の利用促進に取り組みます。
 - 新幹線と航空による相乗効果を図りながら、羽田便の利便性向上と利用促進に取り組みます。
 - 羽田乗継の利用促進に取り組み、新たな航空需要を開拓します。
 - 小松空港の優位性を活かした国際化を推進します。
 - 国際定期直行便各路線の特長を活かした利用促進に取り組みます。
 - 新規路線誘致に向け、チャーター便の就航促進に取り組みます。
 - 国際航空貨物の集積による国際物流拠点化を推進します。
 - 国際貨物便の活性化に向け、新たな貨物需要を開拓します。



ミラノ国際博覧会での石川のPR



小松空港

④ のと里山空港の利用促進と、にぎわい創出による地域拠点としての活性化を図ります。

- 羽田便の複数便維持のため、首都圏・地元双方向の利用促進を図ります。
- 海外からの旅客誘致のため、国際インバウンドチャーター便の運航支援を行います。
- 能登地域の特性を活かした各種イベント開催などを推進します。



のと里山空港

⑤ 国際物流拠点として金沢港の整備を進め、人・ものの交流の拡大を図ります。

- 地域産業の国際競争力向上を図るため、大浜国際物流ターミナルの整備を促進します。
- 貨物量の増大に対応するため、コンテナターミナルの機能強化を図ります。



金沢港大水深岸壁(完成予想図)



金沢港御供田国際コンテナターミナル(完成予想図)

⑥ 能登地域の拠点港として七尾港の港湾施設の充実と利用促進を図ります。

- 能登地域の流通拠点基地としての充実を図るため、大田国際物流ターミナルの整備を促進します。



七尾港大水深岸壁(完成予想図)

⑦ 本州の日本海側中央に位置し、国際的に評価の高い観光地に近いという優位性を活かし、戦略的にクルーズ船を誘致します。

- 釜山港などの他港とも連携し、金沢港を発着地とするクルーズ船などの戦略的な誘致を進めます。
- クルーズ船の受入体制を充実するとともに、金沢港の発着港としての定着に向け、県内及び周辺地域におけるクルーズ需要の喚起を図ります。



金沢港に寄港するクルーズ船



七尾港に寄港するクルーズ船

(2) 「ダブルラダー輝きの美知」構想^{みち}(※)の推進

① 時間距離の短縮により県土の一体化を図ります。

- 県内各地に至る時間距離を短縮し、細長い県土のさらなる一体化を推進します。
- ゆずりレーンや幅広い路肩の設置により、安全で快適な移動を確保します。
 - のと里山海道、能越自動車道、金沢外環状道路山側幹線、加賀産業開発道路 等

② 陸・海・空の交流拠点との連携強化を図ります。

- 鉄道、港湾、空港と道路との連携強化により、人・ものの円滑な移動を確保します。
 - 金沢外環状道路海側幹線、加賀海浜産業道路、加賀産業連絡道路 等

③ 隣県や三大都市圏との広域交流圏を形成します。

- 隣県や三大都市圏へのアクセスを強化し、広域観光圏の形成や広域交流を促進します。
 - 東海北陸自動車道、小松白川連絡道路、国道8号、金沢福光連絡道路 等

④ 能登・金沢・加賀各地域を巡る回遊性を向上します。

- 魅力ある観光地相互の連携を強化し、県内各地を巡る回遊性を向上します。
 - 中部縦貫自動車道連絡道路、南加賀道路、奥能登絶景海道 等

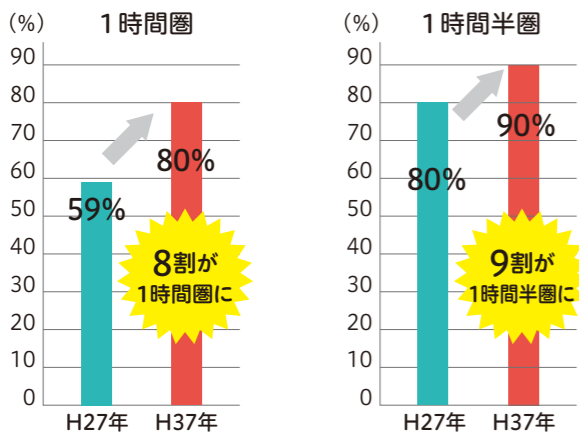
◆ 期待される効果の例

人の交流

能登を通勤可能生活圏へ

のと里山海道の4車線化等による南北幹線の骨太化により、能登・金沢の時間距離を更に短縮し、能登から金沢への通勤を可能とします。

【能登地域から金沢への通勤可能人口の割合】



ものの交流

金沢港と加賀地域の拠点性の強化

加賀海浜産業道路等の整備により、加賀地域から金沢港へのアクセスを向上し、金沢港の振興と加賀の企業立地促進を通じた拠点性の強化を図ります。

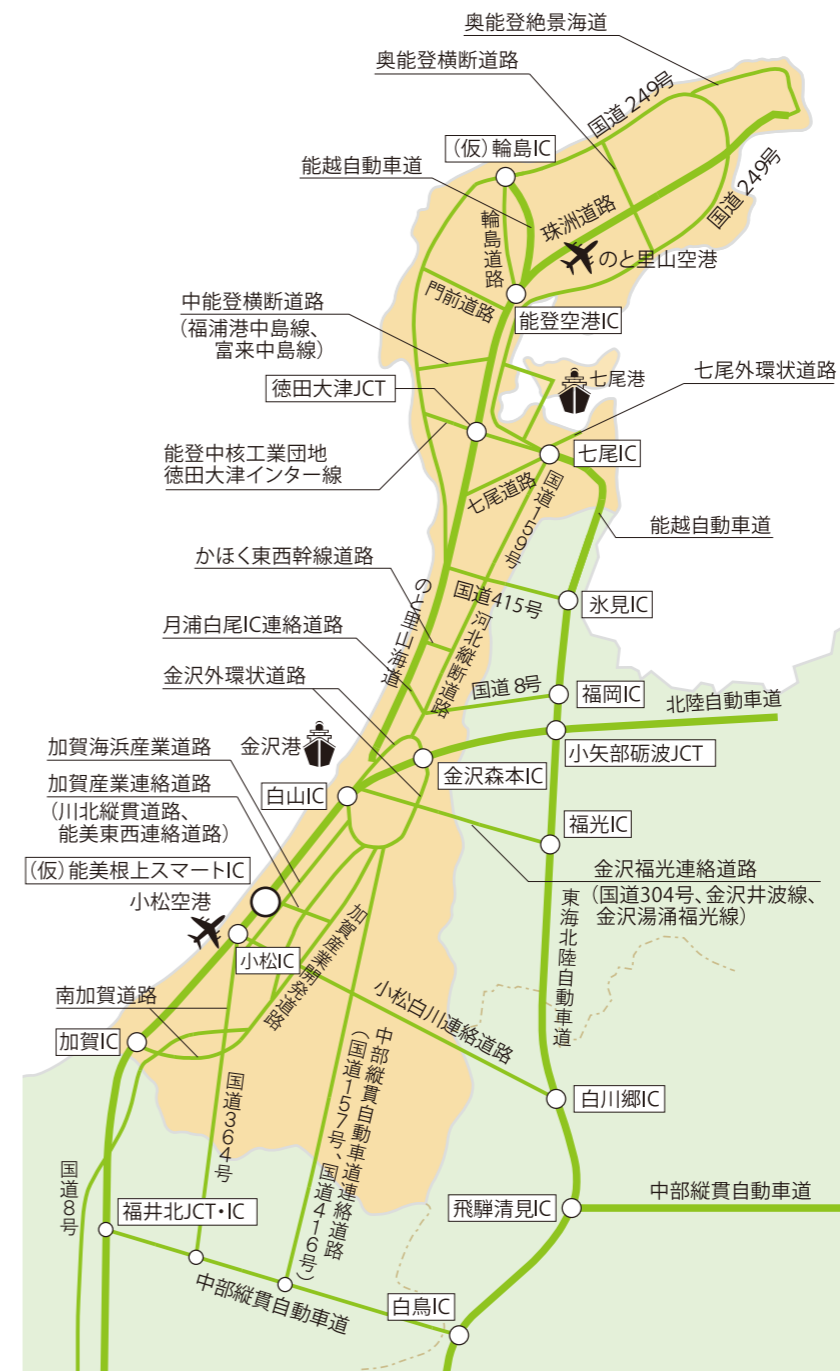


⑤ 緊急時の道路ネットワークを確保します。

- 骨太で多重な幹線道路ネットワークを確保し、緊急時の迅速な救急・支援活動を支えます。
 - 奥能登横断道路、中能登横断道路、七尾外環状道路 等

※「ダブルラダー輝きの美知」構想…本県の広域幹線道路網の基本方針。既存の幹線道路ストックを活かして、南北幹線の骨太化に加え、東西幹線の追加により県土を隈無く網羅する幹線道路網の形成を図ることで、県土のさらなる一体化や新幹線開業効果の県内全域への一層の波及を図る。

「ダブルラダー輝きの美知」構想



《構成路線》

【南北幹線】

- ・北陸自動車道
- ・能越自動車道
- ・東海北陸自動車道
- ・珠洲道路
- ・輪島道路
- ・のと里山海道
- ・国道249号
- ・国道159号
- ・河北縦断道路
- ・月浦白尾IC連絡道路
- ・金沢外環状道路
- ・加賀産業開発道路
- ・加賀海浜産業道路
- ・国道8号
- ・中部縦貫自動車道連絡道路 (国道157号、国道416号)
- ・南加賀道路
- ・国道364号

【東西幹線】

- ・奥能登絶景海道
- ・奥能登横断道路
- ・門前道路
- ・中能登横断道路 (福浦港中島線、富来中島線)
- ・能登中核工業団地 徳田大津インター線
- ・七尾道路
- ・七尾外環状道路
- ・国道415号
- ・かほく東西幹線道路
- ・国道8号(舟橋～県境)
- ・金沢福光連絡道路 (国道304号、金沢井波線、金沢湯涌福光線)
- ・加賀産業連絡道路 (川北縦貫道路、能美東西連絡道路)
- ・小松白川連絡道路
- ・中部縦貫自動車道